

「知的わくわく磁性流体モデル」を大学と中学校が協働で実現し、
科学のわく組を動かせる次世代理系人材を育成する

令和 8 年度 第0日目 2026年6月27日 (土) 開講式



県内各地から集まった、科学を愛する中学生たち。いつもとは違う環境、そして志を同じくする「いつもと違う仲間」が集う空間には、どこか心地よい緊張感が漂っていました。私たちは、皆さんとお会いするこの時を心待ちにして準備を進めてきました。中谷財団様から支援を受けて進めているプログラムですが、今年で4年目を無事に迎えることができましたが、これもすべて、受講生の皆さんの頑張りがあったからこそです。継続の受講者16名に、新規の受講者23名が加わり、今年度は39名で3月のMM☆ポスター発表を目指します。

私たちが大切にしている価値観

★多様性をつなぐ

★エージェンシーの涵養

★伴走して育てる場

私たちが大切にしている価値観です。エージェンシーという言葉はあまり聞き馴染みのない言葉かもしれませんが、OECDの定義を紹介すると、「変化をもたらすために、目標を設定し、振り返り、責任を持って行動する能力」です。

なぜ次世代理系人材プログラムに申し込もうと思ったのですか？

そもそも、次世代理系人材プログラムとは何なんですか？

科学の枠組みを動かせる力とは一体何なのですか？



一度特定の「枠」で物事を捉えると他の見方が見えなくなる人間の認識特性を体験すると、枠を動かすことが簡単なことではないことが身体感覚としてわかります。その上で、恐竜（タルボサウルスの復元図）の変化を例に科学とは固定された不変の真理ではなく、新たな発見や解釈によって変わりうるものであることを伝えました。そのように、その枠組み自体を動かすことが、サイエンスの醍醐味でもあります。学校の教科書の先にある、まだ誰も答えを知らない「世界の未開拓な領域」へ踏み出すため、あなたの感性が面白いと言っているワクワクの声に耳を澄ませ、MM☆を楽しんでください。



<受講生の振り返り> 私が今日大切だとおもったことは、「自分から行動する」ということです。次世代理系人材育成プログラムに参加するだけでなく、より主体的に行動することにより、より多くの力が得られるのだと思いました。去年はできなかった活動なども含めて積極的に頑張っていきたいです。